

みんなの広場



▲丹精込めて栽培された、しっかりした粒の甘いぶどうが並んだ「ぶどう共進会」(所沢産のぶどうの品質を審査する会) 8月24日(金)/市役所1階市民ホール



▲大きなひまわりが咲き誇るお花畑で、地元の大学生や所沢出身の歌手による「ひまわり畑ライトアップコンサート」が行われました。 8月25日(土)/三ヶ島1丁目(中央消防署西側のお花畑) (撮影/市民カメラマン・松崎 満)



▲県警音楽隊を先頭に、オープンカーに乗車した女優の「本仮屋ユイカさん」が1日警察署長となり、交通安全をアピールしました。

9月11日(火)/プロペ通り



▲子どもたちが手作り、おいしい「ハヤシライス」を作った宮本町青少年を守る会による野外パーティー 8月18日(土)/所沢神明社境内

みんなのギャラリー

試して楽エコ!!

～秋の夜長、灯火親しむために～

部屋の明かりが暗く感じてきたら、照明器具の点検をしてみませんか。効率のよい照明を維持するためには照明器具の清掃が必要です。

照明器具の傘の部分や電球は、熱のために意外とほこりがつきやすいものです。ほこりや汚れも、明るさに影響しますので、こまめにお手入れをしましょう。

また、電球の早めの交換が、電気代の節約につながります。

器具によっては、電球を白熱灯から蛍光灯に替えることができるものがあります。蛍光灯は、白熱灯より寿命が長く消費電力が少ないため、省エネになります。



【電球の交換・お手入れ】

- 照明器具の清掃や電球の交換は、必ず電源スイッチを切り、しばらく置いて熱が冷めてから行いましょう。
- 電球を拭くときは感電の恐れがあるため、口金をぬらさないように注意しましょう。
- 蛍光灯は、蛍光管の端が黒ずんできたなら、取り替え時期ですので交換しましょう。

新しい電球を選ぶときのポイント ▶照明効率が高いもの ▶寿命が長いもの ▶水銀の封入量が少ないもの ▶表示に注意して選びましょう。

電球などのごみの出し方

蛍光灯は有害ごみ、白熱灯は燃やさないごみとして分別し、別々の透明なビニール袋に入れて処分してください。

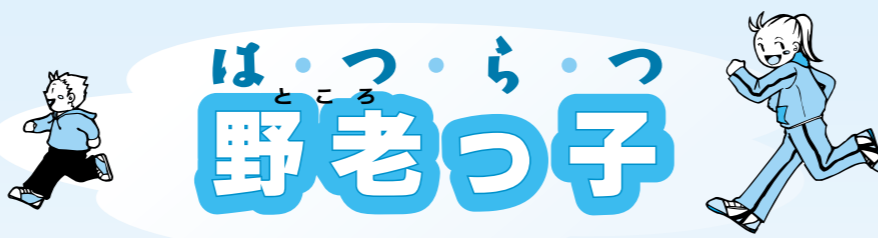
家中の電球を一度に交換するのは大変です。部屋ごとに取り替え月を決めて行うのもひとつの工夫です。

問い合わせ リサイクルふれあい館・エコロ(☎2994-5374・FAX2994-1118)



▲蛍光灯への点検は、省エネアドバイザー

はつらつ野老っ子



写真をご覧ください。『自転車空を飛ぶなんて!』とても身近で、便利な乗り物である自転車。しかし、自転車に乗ってジャンプしたり、回転したりとなると話は違ってきます。

こうした色々な技で遊べる自転車が、BMXです。BMXとは、バイシクルモトクロス略で、直径20インチのタイヤを装備し、『ジャイロ(ハンドルを左右にいくらでも回転できる)』と呼ばれる独特な機構が搭載されている小さくておしゃれな自転車です。

岡田さんは、BMXのストリート種目(ジャンプ系)を得意とするプロライダーです。フリースタイルの競技ではリスクの高い大技を安定して決め、国内外でのコンテストを初め、各種大会へ参戦しています。また、『A.P.クルー・チーム・メンバー』のリーダーでもあり、毎年秋に開催される市民フェスティバルでは、10年間、BMXのショーを続けてきました。そんな岡田さんにBMXの魅力を探ると「子どものころに初めて自転車に乗れた快感のように、技を一つひとつ決めたときの達成感が最高!」と少年のような笑顔

BMXの魅力伝えたい

岡田 一生さん(小手指町在住)

で答えてくれました。

日本では、本場のアメリカなどに比べるとまだまだ知られていないこの競技ですが、同チームでは、フリースタイルの競技を見せるためのジャンプ台を持っており、さまざまな場所へ出かけてショーを演出し、見るものを感動と興奮の世界へ導きます。

岡田さんにとってのBMXは、からだの一部であり、毎日の生活になくはならないものになっているそうです。「おじいちゃんになっても乗り続けたい」と話す岡田さん。これまでの経験を生かして、スクールの開催や後輩の指導なども行いたいと意欲的です。

「難しいように見えますが、初歩的な技であれば、練習しただけでも乗ります。それができて、とりこになってしまえば、BMX。イベント会場や学園祭などへも出向きます。ぜひ、僕らのチームのショーをご覧ください。」と熱いメッセージをいただきました。



▲BMXライダー

怖くて冷や汗

小手指町・原 朋邦

冷や汗は、恥ずかしい・怖い・過度の緊張のときに出るものだが、自分の経験では怖いときに最も強く出るように思う。私が、経験した冷や汗のなかで、最も強い印象が残っているのは、昭和20年のことであつた。父が戦地に行き留守であつたので、母と弟と愛媛県宇摩郡関川村に疎開していた。戦争が終わりが、連合軍が進駐して来たのは知っていたが、自衛隊は自衛隊ではなかつた。ある日、シーブに乗った軍人が来た。私はまだ戦闘帽を被って通学していたが軍に属するものを持っていると殺されると聞いていたので、慌てて橋の下に隠れた。鬼畜米英の教育は生きていたのだ。あのときの怖さは忘れられない。

年中、冷や汗

荒幡・樋口 京子



自慢ではないが、たいそうな方向音痴である。運転手はあきれが、何度か通る道も毎回新鮮でよい。つまり、助手席に座っていると、この汗は無縁である。しかし仕事上、四季を通して慣れない道の運転をしなければならず、残念ながら助手席に座るわけにはいかないのだ。あらかじめ念の下見をするが、当日は、手のひらが汗でびしょじりになる。案の定、なぜか下見に行った道と風景が違う。手のひらだけでなく、頭の中も、冷や汗たらたら状態だ。ひたすら車を走らせ、ようやく人見覚えのある所へたどりつき、ひと安心。今年の酷暑の熱風でさえ、たっぴり冷や汗を流した私には、少しさわやかであつた。

思ひ汗の冷や汗

中新井・高橋 祥子

自分で着物が着たいと思ひ、着付けの資格を取りました。クラス会・観劇会に着て出かけていました。ある日、友達のお嬢さんの結婚の着付けを頼まれました。1日中着ても着たといわれてうれしくなり、娘の成人式には、娘とほかの方に着付けをして送り出しました。ところが、次の年、成人式の着付けを頼まれましたが、一度も着物も見ずにお嬢さんにもお会いしないで、初めて当日伺いました。着物は襟が2枚重ねて決まらず、とても細身で胸の補正もして帯があまり、時間は刻々と過ぎていきます。家族の方は写真を撮りたいと言ひ、美容院の予約の時間は迫ってきます。やっこの思ひで着付けをしました。今、思ひでも申し訳なく冷や汗が出ます。



「冷や汗」
◆テーマ
誰でもエッセイ

皆さんからの写真や投稿をお待ちしています

▶「みんなの広場」では、エッセイおよび市内で撮影した写真やイラストなどを募集▶写真には撮影日・場所・コメント(約60字)を明記▶エッセイはテーマにそって300字以内▶次のテーマは『秋の味覚』▶文章は添削あり▶締め切りは10月5日(金)必着▶掲載者には記念品を進呈▶いずれも住所・氏名・年齢・電話番号を明記のうえ〒359-8501・並木1-1-1所沢市役所秘書広報課「みんなの広場」係へ郵送またはEメール(アドレスshiroba@city.tokorozawa.saitama.jp)でご応募ください。